

「KISOEによる韓国の放射線作業員職業被ばくの分析」

Mr. Byeong-Soo KIM (KINS, 韓国)

韓国職業被ばく情報システム (KISOE) は韓国原子力安全技術院 (KINS) で 2005 年に運用を開始した。目的は、放射線作業員のための放射線防護プログラムの改良であり、韓国の放射線業務従事者の職業被ばくを分析するためである。それは、原子力、産業、研究、教育および医療分野を含む様々な放射線業務従事者の職業被ばくの線量記録データベースである。

職業被ばくに関する時系列の様々なタイプが、KISOE のデータベースを用いて分析された。その分析は、10 年の期間 (2002~2011 年) について 10 種類の許認可タイプに対して、ライセンシーの数、放射線作業員、年間集団線量および年平均線量の時間的傾向について行なわれた。

放射線業務従事者の数は、過去十年間、毎年約 5%増加しているが、毎年の集団線量は同じレベルを維持しており、また、平均年間線量は連続的に徐々に減少している。分析に基づいて、韓国の放射線業務従事者のための放射線防護プログラムが継続的に改善されてきたことが分かる。

しかし、NDT (非破壊検査) 従事者は平均線量及び集団線量が高く、懸念される。

なお、KISOE システムは放射線業務従事者の作業毎線量の詳細なデータを収集及び、データ分析のためのより洗練された方法を開発するため、改善を続ける必要がある。

